

実施教員	所 属	理学療法学科
	職・氏名	教授 原 和彦

テーマ	補装具療法と歩行機能		
実施目標 (高校生に何を学んでもらうか等)	補装具の定義、歩行機能を再獲得するための補装具療法の概要を理解する。 特に、片麻痺や下肢障害に対し用いる長下肢装具、短下肢装具の構造、特徴を理解する。		
授業内容の要旨	リハビリテーション医療現場や、社会復帰後に障害者の生活を支援する道具として、現在も多くの補装具が利用されている。 その補装具の機能と歩行機能について簡単な講義の後、実際の補装具（長下肢装具、短下肢装具など）を装着して歩行体験を行い、補装具についての理解を深めるための演習講義を行う。		
授業形態	講義	実習	<input checked="" type="checkbox"/> 演習
対象人数	20人程度		
必要機材	<input checked="" type="checkbox"/> プロジェクター	<input checked="" type="checkbox"/> スクリーン	<input checked="" type="checkbox"/> パソコン (パワーポイント)
	OHP	<input checked="" type="checkbox"/> その他（補装具は本学が所有するものを使用する）	特になし
実施に当たっての その他留意事項等	講義では、実際に補装具を装着しての歩行体験学習を行うので、広めの講義室と、運動を行いやすいトレーニングウエア着用が望ましい。		